

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.194)

1. 収集運搬作業従事者講習及び収集運搬認定証交付式を実施しました

トランスやコンデンサなどのPCB廃棄物の収集運搬を行うには、安全を確保するためにさまざまな条件が必要となります。その条件を満たし、行政及び当施設の許可を得た収集運搬事業者でなければ、収集運搬をすることができません。

さらに、当施設に入門する作業者は「入門許可者証」が必要であり、当施設で行っている「収集運搬作業従事者講習」の受講修了者に交付しています。



当施設では「収集運搬作業従事者講習及び収集運搬認定証交付式」を5月、9月、1月と年3回実施しています。

今回は、5月25日(月)に講習を実施し、入門許可者証の交付を行いました。

PCB廃棄物収集運搬に関する入門許可手続き等の詳細につきましては、次頁お問い合わせ先までご連絡ください。

2. 社員提案の表彰を行いました

豊田PCB処理事業所では『社員提案制度』を実施しています。これは、安全で確実な操業、作業安全の向上、作業の効率化などを目指し、社員から随時、自発的に提案してもらい、優秀な提案を表彰するものです。

令和元年度第2回(令和元年9月～令和2年2月分)は、全20件の提案があり、提案内容の具体性や実施状況を審査して最優秀賞1件、優秀賞2件、佳作2件を選定し、4月21日(火)に表彰をしました。今回は、更なる安全性の向上を図るものが多く提案され、これらの提案の実践を進め、より一層の安全で安定的な操業に取り組んでまいります。

3. 豊田PCB廃棄物処理施設 春期定期点検のご案内

豊田PCB廃棄物処理施設では、6月7日(日)から7月3日(金)まで、約1ヶ月をかけて春期定期点検を行います。

詳細については、春期定期点検終了後に改めてお伝えします。

PCB処理事業紹介シリーズ 第37回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設で最も大きい設備、蒸留設備をご紹介します。

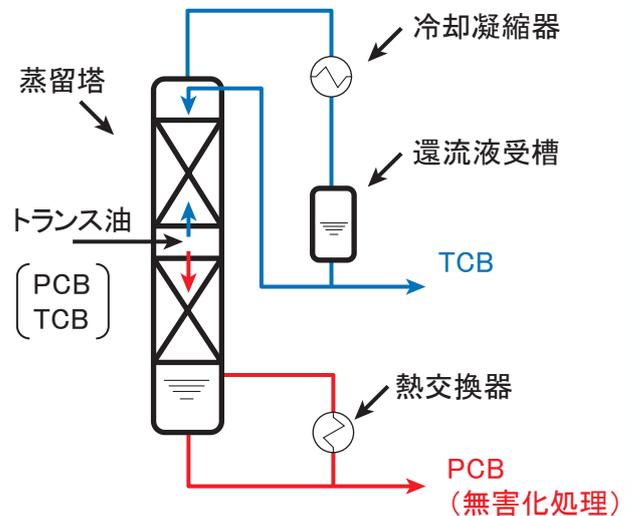
この設備は、液体が沸騰して気体になるときの温度(沸点)の違いを利用して混合物を分離し、別々に回収するための設備です。蒸留設備は、蒸留塔と熱交換器等の補機類から構成されています。蒸留設備の主要機器である蒸留塔について以下に説明します。

蒸留塔に入れられた混合物は加熱することで沸騰します。

低い温度で蒸発する物質(低沸点物)は気体になり蒸留塔の上部に上がって行きます。この低沸点物の気体はその後冷却されて液体として回収されます。

高い温度で蒸発する物質(高沸点物)はほとんど蒸発せず、蒸留塔の下側で液体として回収され次の工程へ送られます。

また、冷却して回収された低沸点物(液体)の一部を蒸留塔の上側に戻し、その気化熱で蒸留塔の上部の温度を下げることで蒸留塔全体の温度を安定させ、分離性能を保っています。



トランス油分離蒸留設備(イメージ図)

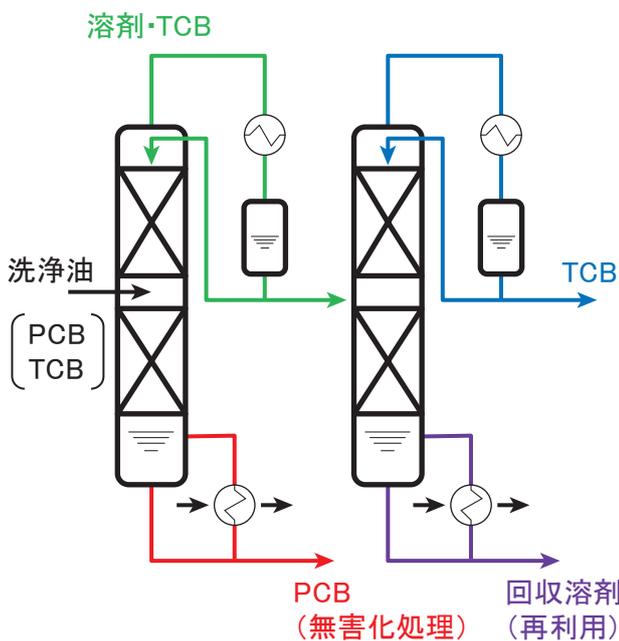
当施設には蒸留塔は全8本あります。その中から以下の蒸留塔についてご説明します。

(1)トランス油分離蒸留設備

トランスに含まれる絶縁油はPCB60%とTCB(トリクロロベンゼン)40%の混合物です。TCBは低沸点物、PCBは高沸点物です。TCBは蒸留塔の上部から回収されて、産業廃棄物として施設外に搬出されます。PCBは蒸留塔の底部から回収されて、次の工程(液処理)へ送られて無害化されます。

(2)洗浄油分離蒸留設備

トランス等の洗浄に使用したTCBを含んだ洗浄油(鉍物油=溶剤)はPCBよりも沸点が低いため、先に気体となります。PCBはそのまま液処理へ送られます。また回収した洗浄溶剤は2段目の蒸留塔でTCBと溶剤とに分離され、回収した溶剤は再利用します。



洗浄油分離蒸留設備(イメージ図)



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>